

平成25年度

事務事業評価表 A（平成24年度の実績評価）

記入年月日  
平成 25 年 4 月 1 日

事務事業名		歴史的風致形成建造物修理事業				区分		事務事業No.	30513317		
						<input type="checkbox"/>	分野別主要事業	課内No.	17		
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/>	未来プロジェクト事業	主管課			
政策体系	総合計画の施策名	305	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	市長マニフェスト事業	所属部	教育委員会		
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり			<input type="checkbox"/>	合併建設計画事業	所属課	文化財課 33		
	施策名	5	文化財の保存・活用			<input type="checkbox"/>	新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業	課長名	石川 文雄		
	基本事業名	1	文化財の保存			<input type="checkbox"/>	単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助事業	グループ	文化財G		
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	仁平 昌則		
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計					
	1	10	5	9	2	#N/A					
法令根拠	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律					<input checked="" type="checkbox"/>	期間限定複数年度(	23	年度～	29	年度)

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

(1) 事務事業の概要・手段・目的・結果と各指標

手段	① 事務事業の概要(事務事業の内容)		平成21年2月に策定し、同3月に文部科学省、農林水産省、国土交通省に認定された桜川市歴史的風致維持向上計画に位置づけた歴史的風致形成建造物の修理を実施する。 ・市所有歴史的風致形成建造物 1件 ・個人所有歴史的風致形成建造物 25件(補助率2/3 上限200万円) ※歴史的風致形成建造物・歴史的風致維持向上計画に記載された歴史的風致に関連する建造物で、10年間の一般公開の同意が得られた物件。		② 担当者が行う業務の内容、実際に行った主な活動		歴史的風致維持向上計画の変更業務 歴史的風致形成建造物の指定 街なみ環境整備事業計画・執行 工事・委託発注・監督業務 修理費補助業務 歴史的風致維持向上推進協議会の開催	
	③ 対象(誰、何を対象にしているのか)		歴史的風致形成建造物		⑥ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		単位	
目的	④ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		歴史的風致形成建造物の修理		⑦ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	
	⑤ 結果(どんな結果に結び付けるのか)		保存され一般公開される歴史的風致形成建造物		⑧ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	
結果					⑨ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	
					ア 公開物件数		件	

(2) 指標値の推移

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)	
⑥活動指標	ア		1	19	30	30	30	30	期間限定 総投入量
	イ								
	ウ								
⑦対象指標	ア		1	19	30	30	30	30	
	イ								
	ウ								
⑧成果指標	ア		1	13	30	30	30	30	
	イ								
	ウ								
⑨上位成果指標	ア		0	1	30	30	30	30	

(3) 投入量(事業費)の推移

区分	単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
		(実績)	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	(目標)		
事業費	国庫支出金	千円	1,000	14,874	20,000	0	0	0	35,874	
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	使用料・手数料	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	1,000	15,335	20,368	0	0	0		
事業費計(A)	千円	0	2,000	30,209	40,368	0	0	0	72,577	
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1		
	述べ業務時間	時間		400	600	800	50	50		
	人件費計(B)	千円	0	1,216	1,824	2,432	152	152		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	3,216	32,033	42,800	152	152		
事業費の内訳	24年度事業費実績(千円)		25年度事業費 予算(千円)		26年度事業費 計画(千円)		27年度事業費 計画(千円)		28年度事業費 計画(千円)	
	委託料	1,680	委託料	2,600						
	工事請負費	3,400	工事請負費	33,400						
	補助金	24,748	補助金	4,000						
	報酬	18	報酬	21						
	旅費	80	旅費	68						
	土地借上料	283		279						
	合計	30,209	合計	40,368	合計	0	合計	0	合計	0

(4) 当該年度の実施内容

	25年度の事業内容	26年度の事業内容	27年度の事業内容	28年度の事業内容
※ 下記に該当する事業は年度ごとの事業内容を記入する				
分野別主要事業 未来プロジェクト事業 市長マニフェスト事業 合併建設計画事業	→			

事務事業名	歴史的風致形成建造物修理事業	事務事業No.	30513317	所属課	文化財課
-------	----------------	---------	----------	-----	------

**[Do]** 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？  
 桜川市歴史的風致維持向上計画に基づき、修理が必要な登録有形文化財を、歴史的風致形成建造物に指定し、年間1~2棟修理する予定であったが、東日本大震災により多くの登録有形文化財が被災したため、災害復旧を目的とした修理工事を平成23年度から実施している。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
 登録有形文化財は、修理費補助制度が無いため、何らかの修理費の補助が求められている。

**[See]** 2. 評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 歴史的風致の維持及び向上は文化財の保存・活用につながるため
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？)(法定受託事業はその名称) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 歴史的風致形成建造物の外観は、地区の景観を形成しているため
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 歴史的風致維持向上計画は、重点的に整備する区域を定めているため限定的な事業となる
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 本事業は、国土交通省の事業を導入し、市費の削減に努めているため
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 取り壊される歴史的建造物が増え、地域の景観に大きな影響を及ぼす
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段が無い 具体的な手段、事務事業名 他事業は登録文化財の修理費補助がないため、あとは一般財源のみの事業となる <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 工法、仕様とも文化庁と事前調整しているため、削減はできない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 補助金交付事業・工事監督業務は市職員の業務であるため
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 登録有形文化財の規制部分についての補助であるため、地域の景観の維持につながる

**[Plan]** 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 東日本大震災からの復興のため各種事業を検討しながら進めているため、継続的な支援が必要																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
	(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

**[Check]** 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---